

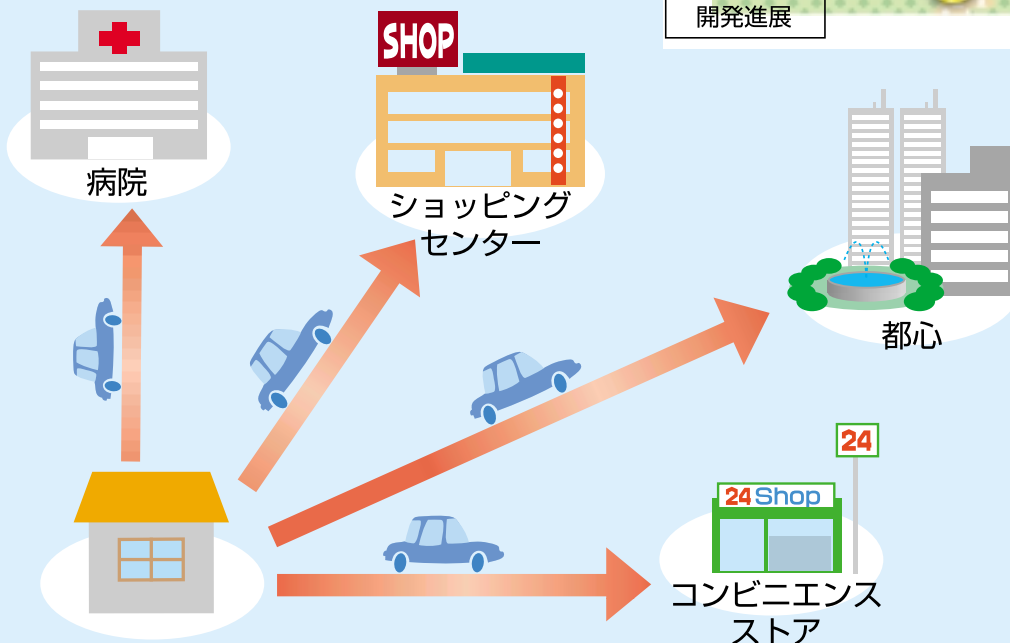
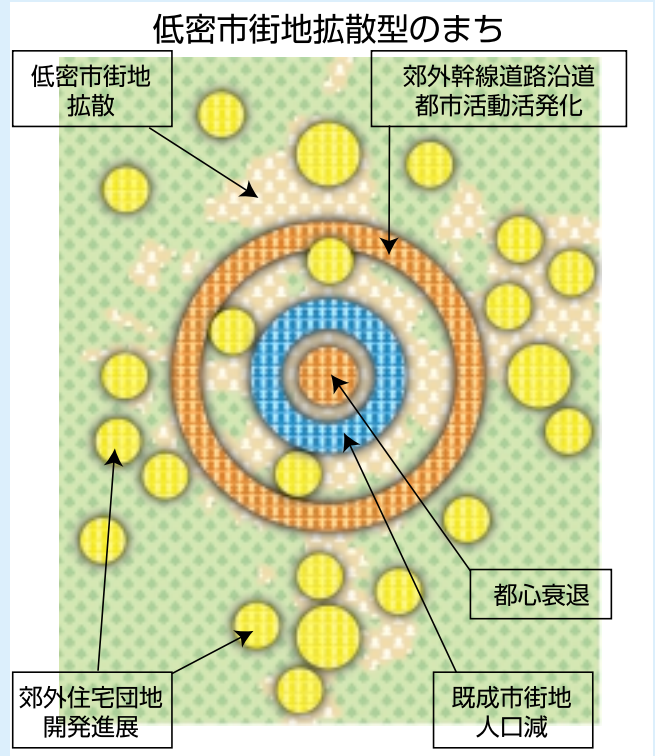
## A 現在の郊外化傾向がこのまま続くと… 密度の低いまちが郊外部に拡散します。

### ◎郊外の低密市街地での暮らし

○どこに行くにもクルマ中心の生活となり、目的地も散らばっていて全体的な移動距離が長くなります。

### ◎交通のすがたと想定される変化

- 低密度で拡散した市街地に暮らす人がこのまま増え続けると、クルマの利用回数・距離とも大きく増加し、環境改善が期待できません。
- 様々な場所に人々が分散し、都心部の活力低下もさらに進みます。
- バスの利用者が減るとともに運賃収入も減少し、路線の廃止などでクルマを使えない高齢者など交通弱者の足が失われます。



パーソントリップ調査データを使って、将来の2つのまちの交通を比較すると、

自動車から排出される二酸化炭素は、**Bの方が約10%**少なくなります。

まちなかに買物などで来る人は、**Bの方が約23%**多くなります。